

日中はまだ暑さを感じますが、朝晩はすっかり肌寒くなってきました。秋の訪れを感じます。

湖北地域消防本部米原消防署の方に来校いただき、地震から火災発生を想定した避難訓練を実施しました。



クラスごとに運動場までの経路が異なります。安全な経路を通して集合します。

消防士の北川様より、訓練とはいえ避難については真剣に、緊張感が足りないのご指導いただくと共に、避難についての下の様なアドバイスをいただきました。

- 1 地震発生時にすぐに飛び出さず、机の下に隠れ頭を守る、そのとき机が動いてしまわないよう、机の脚を持つなどの安全確保をしましょう。
- 2 二次災害防止のための対策を。地震によりガラスの破損なども想定されるので靴を履くなどの対策をしましょう。
- 3 避難誘導の指示に従い、避難を。ヘルメットなどの頭部を守れるなら頭部を守り、姿勢低く避難しましょう。
- 4 建物の倒壊に注意し、避難の時は建物から距離をとりましょう。
- 5 高校生はスマホを持って避難すること多いかと思いますが、デマなどに惑わされないようにしましょう。

また、災害時において発生し得る被害を最小化するための取り組みである「減災」の考えを元に被害の発生を想定した上で、行動することの大切さについてお話いただきました。

地震や火災など発生してほしくはない災害ですが、万が一の発生を想定して行動することは大切です。

学校内だけではなく、「家庭では」、「外出時は」、「帰宅途中は」などさまざまな状況に応じて、適切な行動がとれるように日常から防災、減災について生徒のみなさんにも考えてほしいと思います。

